



カマタマーレ讃岐

地元企業コラボマスクでマスクの供給と寄付活動 1/2



Story

2020年4月、新型コロナウイルスの感染が拡大し緊急事態宣言が発令されるなどその猛威は日本全国に急速に拡大しました。感染対策として様々なアイテムがありますが、とりわけ「マスク」は一時、品薄状態が続くなど各地で大混乱を招いていました。そうしたマスクが不足している状況だからこそ、いつも地域に支えられているカマタマーレ讃岐が香川県内を結ぶ懸け橋となることで地域課題解決の一助になり恩返しができないか、地元企業が作る品質の高いものを地元香川に住まわれている方々へお届けすることが出来ないかと考えました。そんな中、地元香川県にある手袋メーカーの株式会社スワニーがマスクを製造されていることを知り、すぐさま企画をまとめて提案を持ち込みました。快く趣旨にご賛同いただき、協働で抗菌・抗ウイルスのオリジナルマスクを製作することになりました。マスクが生活に欠かせないアイテムとなったため、デザイン面は外出先でも気兼ねなく着用できる普段使いのしやすさと、さりげなくアピールもできることを重要視しました。その結果、クラブのコーポレートスローガンであり、今回の趣旨にも合う「ALL FOR SANUKI」のロゴをワンポイントで入れたオリジナルマスクが完成しました。完成したマスクは香川県内でマスクを必要とされている皆様にお届けできるようスーパーマルナカを中心に販売しました。初回生産の500枚はマルナカの店頭、カマタマーレ讃岐オンラインストアともに即完売となり追加生産となりました。

品質も高くSNSでは購入いただいた方から高い評価をいただきました。また、地元企業とのコラボという点でもサポーターからはとても好意的な意見が寄せられました。後日、このマスクの売り上げの一部は日本赤十字社香川県支部に寄付させていただきました。寄付に至った経緯は昼夜問わず県民の為に新型コロナウイルス対応の最前線で尽くして下さっている医療従事者の皆様へ少しでも恩返しが出来ればと考えたためです。ホームタウンである香川県内の企業で作られたものを地元のスーパーマーケットを通じて地元の皆様へとお届けする一連のサイクルにより、関わる全ての人々が笑顔になれる取り組みが実現し、今回の地域との連携を通じて改めて人々の温かさを感じました。今後、地域密着型クラブとして何が出来るかを考えるとき、今回の取り組みを糧にして、クラブ単独では乗り越えられないことも、地元企業・自治体と連携して輪を広げることで乗り越えて、地域により深く・より広く寄り添った取り組みに繋げてまいりたいと思います。

■協働者様からのコメント

弊社の手袋縫製で養った技術を、地元プロチームのカマタマーレ讃岐のオリジナルマスクの生産に活かして幸栄です。また、マスクを通して地元プロスポーツチームの盛り上がりにも少しでも貢献できた誇りと、社内的にも「カマタマスク」を自社生産出来るという盛り上がりで社内活性化にも繋がりました。社員一同、カマタマスクを着用して応援しております。

活動詳細情報はこちら



<https://www.kamatamare.jp/news/?id=1184&item=%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0%E3%82%BF%E3%82%A6%E3%83%B3>



カマタマーレ讃岐

地元企業コラボマスクでマスクの供給と寄付活動 2/2



活動場所

マルナカ栗林南店・マルナカパワーシティ丸亀店

カテゴリー(SDGs)／取り組みテーマ

3

すべての人に
健康と福祉を



協働者

企業、日本赤十字社香川県支部

協働者名

株式会社スワニー、株式会社マルナカ、
日本赤十字社香川県支部

